

草案

DRAFT

2020.5.10



愛しあおう!



立ち上がろう!



燃やされよう!

広げよう神の家族

～ミッション 3000 実現のための新 5 ヶ年計画～
2020 → 2024



本郷台キリスト教会

はじめに



2020年、私たちは「新5ヶ年計画」をスタートさせました。

その第1年目は、その計画そのものを作成する所から始めています。

大枠の方向性は「ミッションステートメント」と「3つの視点」としてまとめました。

しかし、それ以上の詳細な計画については、一旦立ち止まって、

主に改めて聴き直すようにと導かれているように感じます。

新型コロナウイルスの影響で、会堂で集まる事が難しくなった今、

主の計画はむしろ、教会員一人一人の置かれている状況の中にこそ示されていると思います。

どうか、この資料を読み、それぞれの示されたことを、分かち合ってください。

そしてそれをファミリーや祈りの友と分かち合い、教会にも送っていただきたいのです。

難しい時期ですが、とても大切な時です。

ともに主の導きに信頼して、前進して参りましょう。

ミッション 3000 と 10×10 ①



彼のことはを受け入れた人々はバプテスマを受けた。その日、3000人ほどが仲間に加えられた。彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。すべての人に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議としるしが行われていた。信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださった。

使徒の働き 2章 41～47節

ミッション 3000 は単に 3000 人教会を目指すというビジョンではなく、地域社会にインパクトを与え、世界宣教に繋がっていった**初代教会の在り方をモデルとする**本郷台キリスト教会に与えられたビジョンです。

ミッション 3000 と 10×10 ②



ミッション 3000 の牧会に対する理念は、次のみことばに表されています。

それからイエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病氣、あらゆるわずらいを癒やされた。また、群衆を見て深くあわれまれた。彼らが羊飼いのいない羊の群れのように、弱り果てて倒れていたからである。そこでイエスは弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主は、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」

マタイの福音書 9 章 35 ～ 38 節

教会がどんなに成長しようとも数字を追うのではありません。イエス様が常に目の前の一人の必要に目を留められたことを覚え、3000 という数字の前に決して一人の魂がおろそかにされてはいけないことを心に刻みます。

また **10×10** は、2013 年末に与えられた、2024 年までに 10 倍の祝福・成長が日本の教会に与えられるというビジョンです。本郷台キリスト教会の祝福だけでなく、**日本の諸教会の一致と祝福のために仕えていく**こともいつも心に止めておきましょう。

ミッション 3000 を振り返って



ミッション 3000 のビジョンが与えられて 25 年が過ぎました。

初めに教会員で集まって思い描いた様々な働きが、この 25 年間で実現していきました。現在教会は、日々の教会活動に加えて、保育、教育、スポーツ、高齢者福祉、障がい者福祉などの様々な分野において働きを進め、地域社会へ浸透し、広がりを見せてきています。

そのような中で、私たちは地域の多くの方々と知り合い、抱えている問題を見聞きし、主の前にとりなし祈ることによって、開拓当初から掲げていた「**地域に仕える教会**」として成長し、大きな祝福を受けてきました。

またもう一つのビジョンであった「**世界に宣教師を送り出す教会**」についても、アメリカやモンゴル、共産圏の国に宣教師を送り出してきました。最近では災害支援のためにネパールにチームを派遣したり、国内では石巻、熊本、広島、千葉などにもチームを派遣しました。またスポーツ伝道を通してフェスティバルチームを作り、国内各地にチームを派遣しました。[日本が世界第二位の未伝部族(福音が伝えられていない民族)であることを考えると、国内への宣教師派遣も取り組んでいく必要があると考えます]

この 25 年を振り返ると、働きが多岐に亘る中での課題も多くありますが、神のみわざが確かに前進していることを感じます。この勢いをとどめることなく進めていきたいと思えます。

愛が結ぶ教会



本郷台キリスト教会には、1989年から「**愛が結ぶ教会**」というテーマが与えられています。

このときから30年が経ち、教会員や教会内の様々な働きは、愛によって結ばれてきているように思います。この「愛が結ぶ教会」の愛が、さらに私たちの関係者や地域に広げられるときがきています。

教会の中だけでなく、**教会の外でこそ神の愛が実践**され、人々の心が変革され、神との平和が実現していくとき、そこに神の国が訪れるのです。

次の段階として、以下の三つの取り組みに注力していきたい。

- **教会員が関わるすべての場所において神の愛を中心とした交わりができる取り組み**
- **神が遣わされた先のコミュニティーを変革することのできるリーダーの育成**
- **讃美と祈りによって聖霊の力を受け、世との戦いに勝利する**

以上を踏まえて、2024年までの新五ヶ年計画を策定し、ミッション3000、10×10のビジョン実現に向けて取り組んでいきたい。

新5ヶ年計画 ミッションステートメント

私たちは、キリストの愛に満ちあふれ、
遣わされた場で、神の愛を現すことによって、
神の国を実現していきます。



愛しあおう!
Love One Another!



立ち上がろう!
Stand Up!



燃やされよう!
Catch the Fire!

新5ヶ年計画 3つの視点



愛しあおう!

Love One Another!

小グループと
家族の祝福

神の家族の広がり

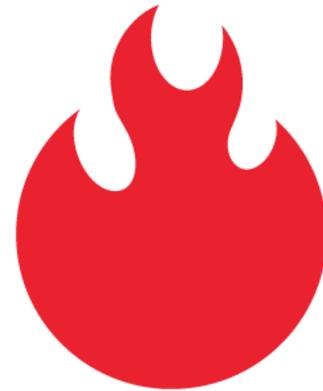


立ち上がろう!

Stand Up!

コミュニティーを
建てるリーダーの
育成

関係回復の宣言



燃やされよう!

Catch the Fire!

聖霊の力で
生かされる歩み

Worship & Prayer



愛しあおう！

Love One Another!

小グループと
家族の祝福

神の家族の広がり

神様の本質は愛です。それゆえ救われた私たちが互いに愛し合うことが大切なこととして命じられています。神の家族は、天のお父さんを真の父親とした愛によって結ばれている家族です。この家族の中では誰も寂しい思いをすることがなく、いつもお互いを気にかけて、神を中心とした交わりがなされています。

この交わりがそれぞれの家族に、また神が遣わされたすべての場所で広げられていくように教会として必要な取り組みを進めていきます。



愛しあおう！

Love One Another!

小グループと
家族の祝福

神の家族の広がり

牧会ファミリーを
宣教主体の小グループへ

小グループのリーダーが
支えられる体制

家族関係の充実と回復



立ち上がろう！

Stand Up!

コミュニティーを
建てるリーダーの
育成

関係回復の宣言

イエス様は、人が神様との関係を回復できるように十字架に架かってくださいました。そして和解の務めを人に託しておられます。

一人ひとりが遣わされている場において、神様と人、人と人の関係回復の宣言をし、コミュニティに変革をもたらすことのできるリーダーとして立てるように取り組みます。



立ち上がろう！

Stand Up!

コミュニティを
建てるリーダーの
育成

関係回復の宣言

聖書知識ではなく
内面の変革へ

弟子訓練コースの
拡大と充実

痛みを抱えた方々に届いていく
人材の育成



燃やされよう！

Catch the Fire!

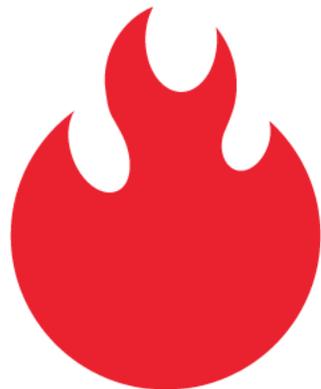
聖霊の力で
生かされる歩み

Worship & Prayer

聖霊は私たちの内に住み愛と力を与え、勝利に導く存在です。教会がこの世で堅く建つために聖霊の臨在は欠かすことができません。聖霊の宮である私たちが聖霊の力をいただくために礼拝、祈り、讃美は不可欠な要素です。礼拝の充実とともに、祈りと讃美の融合、熱い祈りの広がりのために取り組みを進めていきたい。

また「Pray! Pray!! Pray!!!!」で表される、以下の祈りを実践し、充実させていきます。

- ・ 神と一対一での祈り
- ・ 2～3人での祈り
- ・ 集団での祈り



燃やされよう！

Catch the Fire!

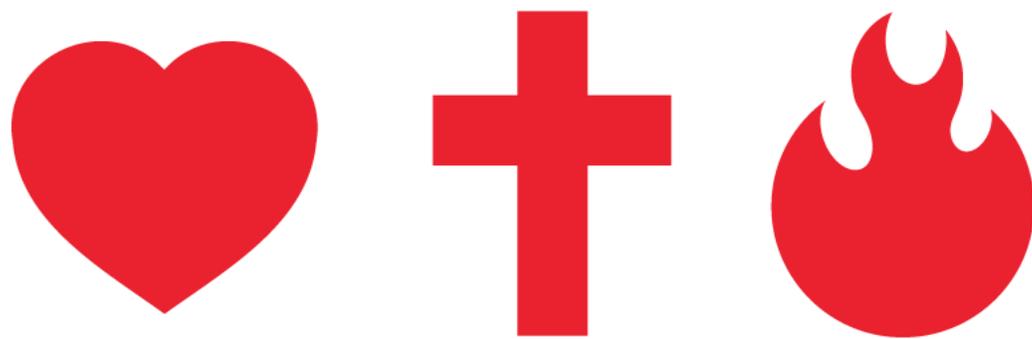
聖霊の力で
生かされる歩み

Worship & Prayer

祈りと讃美の融合

祈りの裾野の拡大

宣教と礼拝の融合



3つの視点を支える大切なポイント

ソフト

すべての働きには
適切な人員配置が必要

ハード

働きに必要な設備として
新会堂建築に取り組む

ネットワーク

諸教会と連携し
諸教会の祝福となる

5ヶ年計画の中では、常にこれらのポイントを意識していく。



ご意見・ご提案などは、本郷台キリスト教会事務室まで、できればメールでお寄せください。

メールアドレス：hongodai@church.email.ne.jp

(メールが難しい方は、他のどのような方法でも構いません)